



しなやかに ともに いきる

VIVID-KYOTO

京 都 商 工 会 議 所

京都経済の未来を担う起業家を表彰！

「京都・知恵アントレ大賞2024」 -受賞者決定-

2024年6月18日

〈本件担当〉

京都商工会議所 特別プロジェクト推進室 鍋島・河村

TEL : 075-341-9755 E-mail : k-cap@kyo.or.jp

優秀賞(2件)

京都発スタートアップ起業家のロールモデルとして
今後の更なる成長を期待したい起業家
活動助成金200万円

ディープフォレスト テクノロジーズ
DeepForest Technologies (株)

オオニシ マサノリ
代表取締役 **大西 信徳 さん**
2022年3月創業 (左京区)



企業webサイト

「世界中でドローンが森林管理・保全に役立つ未来へ」



<選定理由・同社への期待>

日本の人工林では赤字経営や林業従事者の減少等で放置された森林が増加している一方、海外の熱帯雨林では牧草地や高収益作物への転換のために木々が伐採され森林面積が減少している。

同社のソフトが広まることで日々の森林管理の効率性と森林の収益性が向上し、森林・自然環境が積極的に保全される社会が実現することを期待したい。

<代表者略歴等>

京都大学農学研究科森林科学専攻にて、日本や熱帯雨林でドローンとディープラーニングを活用した観測システムを研究・開発。ドローンからAIを用いて樹種を識別するシステムを世界で初めて開発し、このシステムを提供することにより、世界の林業の効率化と適切な保全に貢献するため、博士取得と同時に創業。

<製品・サービス>

①市販のドローンデータから樹種やサイズ、炭素蓄積量を木1本単位で推定する「DF Scanner」と②レーザードローンのデータを森林解析用に処理する「DF LAT」の2つのソフトウェアを主に提供する。

これにより人による現地調査やドローン計測企業への委託と比較し、誰でも効率的に日々の森林管理を行いながら計測コストを1/5～1/10程度に抑えることができ、計測コストが高いために登録数が伸び悩む森林カーボンクレジットの導入促進に貢献する。

今後はカーボンクレジット取引のマーケットプレイスや、クレジットを購入した森林の状況を見える化する機能を実装予定。

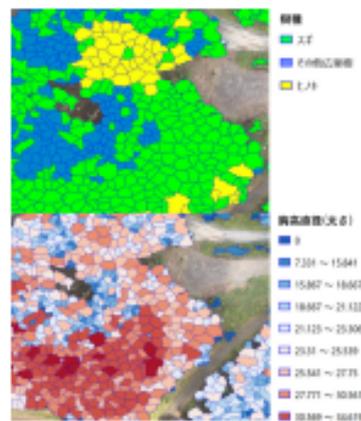
<事業連携事例>

連携先：丸紅(株)・(株)中川

(株)中川が管理する森林において同社の解析システムを通じて「クレジットの創出を実施中。ドローンで取得したデータを用いて「クレジット創出する事例としては日本国内で初の取り組みとなる見込み。



(左上)樹種やサイズ、炭素蓄積量を木1本単位で推定する「DF Scanner」
(右下)技術的に解析が難しいレーザードローンのデータを森林解析用に処理する「DFLAT」



(上)「DF Scanner」によって解析したAIによる樹種識別
(下)サイズ・炭素蓄積量推定

優秀賞

アルクタス セラピューティクス
(株)Arktus Therapeutics

 Arktus
Therapeutics



企業webサイト

オオイワ トモヒロ
代表取締役 **大岩 智大 さん**
2023年7月創業 (左京区)

「iPS細胞由来の細胞製人工膝関節の開発」



<選定理由・同社への期待>

変形性膝関節症をはじめとする膝関節疾患は、重症の若年者やアスリート向けには有効な治療法が存在しない。患者数が多い同疾患に対し同社が提供する新たな治療法は、社会的インパクトの大きさに加え、iPS細胞を使った技術の実用化の中で経済的インパクトの大きな事例の創出としても早期の実用化を期待したい。

<代表者略歴等>

京都大学医学部を卒業後、皮膚科医として主に皮膚がん、皮膚免疫疾患の治療に携わる。その後コンサルティングファームにて製薬企業の上市戦略やサプライチェーン構築、R&D戦略策定等に従事。患者に革新的な医療が届くことを目標に、医師の経験を活かしながらビジネスサイドから製薬・再生医療業界に携わる。

<製品・サービス>

京都大学iPS研究所と佐賀大学の研究成果を基に**3D造形により生成したiPS細胞由来の軟骨製品(インプラント)の開発**を行っている。**サイズや形に制限のない軟骨を生成することが可能な点**が特長で、これまでよりも広範囲の面積・曲面・深さのある損傷の軟骨に対しても治療が可能となる。

症状の進んだ変形性膝関節症に対しては、金属製の人工膝関節置換術が現在確立されている治療法だが、耐久性や感染症のリスク・運動制限等の理由から、一般的には高齢者に限られている。

これに対し同社の製品は**①細菌感染に強い②ヒト軟骨と同等の耐久性を持つ③癒着がないため再置換も容易**な点に加え**④治療後の運動制限がない**点が特長で、**これまで確立した治療法がなかった若い年齢で症状が進行してしまった患者層やアスリートを含む、運動を継続したい患者層へ新たな治療選択肢を提供**する。

研究レベルでは既に動物での実験に成功しており、今後非臨床試験・臨床試験を経て製品化を目指す。



開発中の細胞製人工膝関節



変形性膝関節症の治療法と当社製品の提供領域

特別賞(1件)

支援の必要性・有効性が高く
伸びしろがある起業家

活動助成金200万円



Guardian



企業webサイト

ガーディアン
(株)Guardian

代表取締役 プーザー ケイトリン エリン さん
2022年12月創業 (左京区)

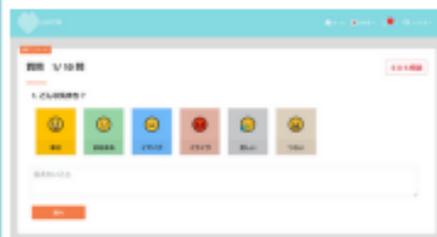
「児童・生徒SOSコミュニケーション
支援システムkimino micata」

<選定理由・同社への期待>

子どものいじめの認知件数や不登校の児童・生徒数は増加傾向にあり、その対策の必要性は高まっている。

いじめの発見にはアンケート調査が有用とされる中で同社が提供するアンケートは「生徒ファースト」の視点で設計されている。本賞の受賞を機に様々な機関のサポートにより同社のシステムが広まり、子どもたちを取り巻く問題が解決されることを期待したい。





アンケート画面(一例)
今の気持ちを絵文字から選択できる

<代表者略歴等>

2016年英国キール大学（犯罪学・日本語専攻）卒業後、小中学校の外国語指導助手(ALT)として勤務。子供たちと接するなかで、いじめ・虐待について問題意識を深め、子供の命を守ることを決意。問題の早期検知を可能にするアプリ「kimino micata」を開発し、2022年に同社を設立、事業拡大に取り組む。

<製品・サービス>

児童・生徒を対象に時間や場所を問わず回答できるオンラインアンケートを提供。

「生徒ファースト」の視点で設計されている点を特長とし、年齢に応じた4段階の設問設定、ひらがなや英語への表記切替の対応、生徒の承諾後の結果共有のほか、外部の相談機関と連携し生徒が匿名で直接悩みを相談できる機能も実装している。

今後は相談センターを持たない自治体向けに臨床心理士等より編成される独自の「SOS相談センター」の機能も整備予定。

<導入事例>

導入先：熊本市

導入規模：10校、約5,000人(2024年4月現在)

※2021年度より小中3校で実証実験を開始。

2023年度に上記規模に拡大。

| 生徒名 | 回答日時 | 緊急度 | 内容 | 対応状況 |
|-----|------------------|-----|------|------|
| 生徒A | 2024/04/01 10:00 | 高 | いじめ | 対応済み |
| 生徒B | 2024/04/01 11:30 | 中 | 不登校 | 対応済み |
| 生徒C | 2024/04/01 13:00 | 低 | 学習相談 | 対応済み |
| 生徒D | 2024/04/01 14:30 | 高 | 自殺念慮 | 対応済み |
| 生徒E | 2024/04/01 16:00 | 中 | いじめ | 対応済み |
| 生徒F | 2024/04/01 17:30 | 低 | 学習相談 | 対応済み |
| 生徒G | 2024/04/01 19:00 | 高 | いじめ | 対応済み |
| 生徒H | 2024/04/01 20:30 | 中 | 不登校 | 対応済み |
| 生徒I | 2024/04/01 22:00 | 低 | 学習相談 | 対応済み |
| 生徒J | 2024/04/02 00:00 | 高 | 自殺念慮 | 対応済み |

教師側の管理画面
回答の緊急度別に色分けし可視化

《コンテスト概要》

■概要 次の時代へとつながる発想や技術で未来を切り拓き、世界へ羽ばたくアントレプレナーを発掘・選定し、サポーター企業や産業支援機関とともに社会実装を支援する。

■公募期間 2024年1月26日～3月26日

■応募総数 35件

■表彰基準

- ①京都・世界へ大きなインパクトを与えている、または与える可能性が高い事業か
- ②京都経済の未来を担う起業家として期待できるか
- ③オール京都による支援の必要性・有効性があるか

■活動助成金 総額600万円

《審査経過》

■一次予備審査(書類) 35件→26件

■一次本審査(書類) 26件→10件

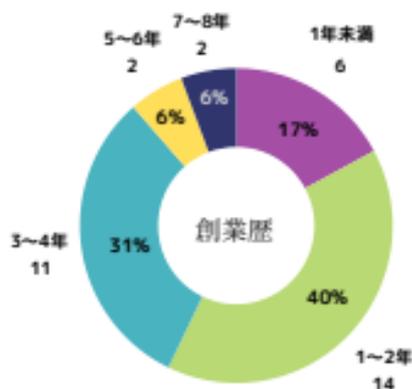
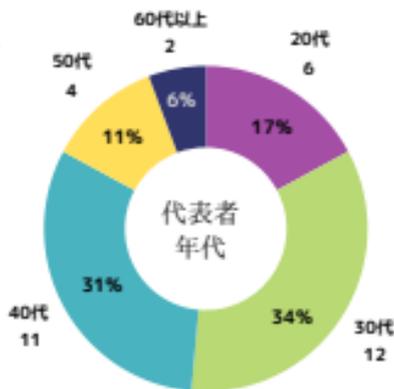
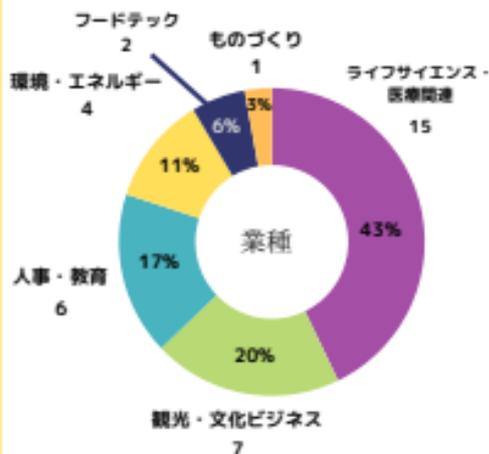
■二次審査(プレゼン) 10件→ 3件

□二次審査員 (順不同・敬称略)

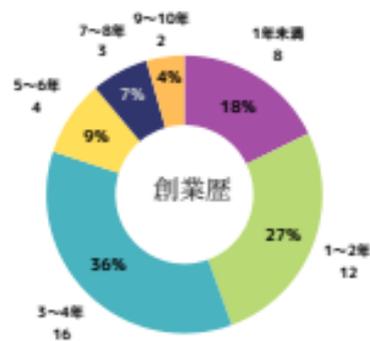
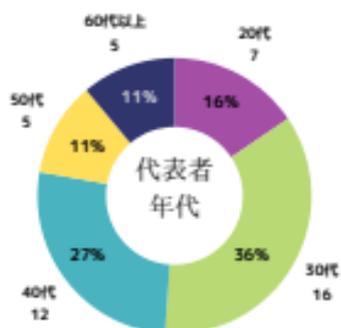
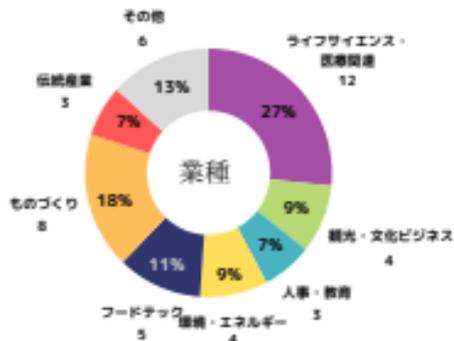
委員長 齋藤 茂 京都商工会議所 副会頭
(株)株式会社トーセ 代表取締役会長 兼 CEO

委員 庄野 裕介 (株)Warrantee 代表取締役
末松 弥奈子 (株)ジャパンタイムズ 代表取締役会長 兼 社長
立石 琢雄 (株)キョーエン 代表取締役
橋寺 由紀子 (株)フェニクシー 代表取締役
東伏見 光 晋 青蓮院門跡 執事長

《応募者属性》



《参考：2023(第2回)》 ※応募総数45件



《表彰式・プレゼン・ブース展示》

2024年7月23日(火) 於：ホテルグランヴィア京都

◇表彰式・プレゼン：16時～17時(予定)

◇ブース展示・懇親会：17時～18時

※本所通常議員総会・懇親会内で開催

清水焼「表彰プレート」



受賞者の革新的なアイデアや技術が世界で花開くことを祈念し、花のような美しい文様が特徴的な「花結晶」(※)をデザインしています。

(※)釉薬が溶けて冷却する過程で結晶化する特性を活かし花が咲いたかのような文様が浮かび上がる。2つとして同じ文様が出ないのが特徴

《サポーター》



《共催・協力・後援》

共 催



協 力



後 援

